

京都市は 500億円の 財源不足！

京都市の令和3年度予算は500億円という巨額の財源不足からのスタートとなります。新型コロナウイルス感染症が未だ収束の目途が立たない中、京都市はまさに財政破綻を目前にして、紙一重でこの危機を回避できるか否かの最後の分岐点を迎えています。今回の京都市への予算要望では、財政破綻を回避すべくアフターコロナ時代も見据えた具体策を提案いたしました。一部を掲載致します。

全文は
ホームページにて
掲載しています。



令和3年度 京都市 予算編成の要望書を提出しました

【人件費の削減】

■市職員の賞与20%カット

20%

令和元年度決算では市職員の人件費は1,646億円であり、うち賞与は360億円。

コロナ禍の影響で特に財源不足が著しい令和3年度においては、夏季及び冬季の賞与それぞれ20%のカットで70億円程度の財源を創出し、財源不足による市民生活への影響を緩和すること。

■残業代の削減

アフターコロナ時代を見据えた働き方改革及びデジタル化により、業務の在り方・業務プロセスの大転換を行い、数年内に残業手当を現状の6割程度、金額にして9億円程度の減少を目指すこと。

(※本市・市長部局(市長の権限で人事や職務の命令がダイレクトに届く部局のこと)の残業手当25.5億円に対して)

60%

【公共工事・施設整備の見直し】

■大型公共工事の見直し

新たに着手予定の施設建設については、原則として実施を見合わせる。今後予定されている大型公共事業や大規模修繕等においては、不急のものは一時凍結すること。その間に新型コロナ収束後の街づくりを見据え、民間資金の活用などによる計画の見直しも含めた検討を行うこと。継続中の事業においては、予算の増加抑止、事業規模の縮減等に努めること。

■投資的経費の見直し

本市の投資的経費は、令和2年度予算編成方針では768億円となっており、毎年度700億円前後とされている基準目標を大幅に超えている。今後の投資的経費に関しては、目標の範囲内に確実に収められるよう、精査された予算編成を行うこと。また、継続中の事業については、これ以上の予算増加は確実に抑止することは勿論、事業規模縮減についても可能な限り検討すること。(※投資的経費とは…道路・橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等の整備に要する経費)

【新たな一手】

■PFI方式の提案

市の所有する土地や施設を民間企業に貸し出し、賃料収入を得ながら運営コストの削減を図ることができるPFI方式。例えば、梅小路公園やさすてな京都、二条城などのPFI化実施を検討する事を要望した。



SNSのご案内



@kamitanishuhei



@kamitani_shuhei



@kamitani.kyotoparty



https://kamitanishuhei.com/



日々の活動や想いを
発信しています。
フォローお願いします!!